

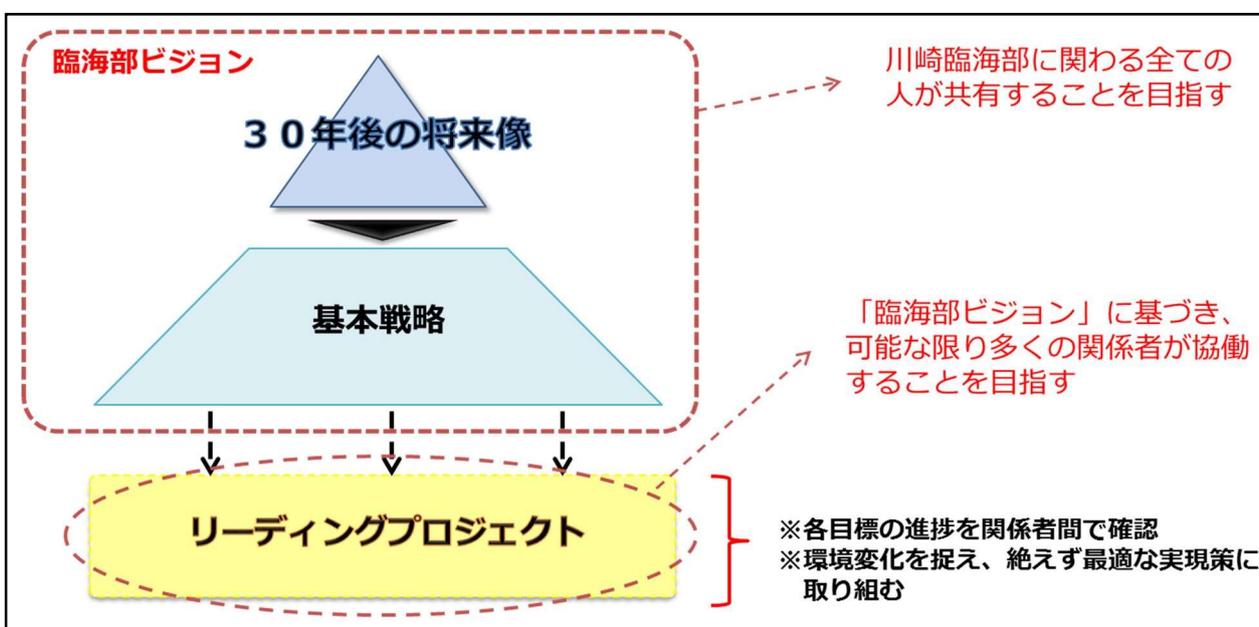
## 8 ビジョンの実現に向けて

### 8-1 ビジョンの実現に向けた基本的な視点

臨海部ビジョンは、川崎臨海部に関わる全ての人々が共有することを目指すとともに、その実現に向け、立場や組織を超えて可能な限り多くの関係者が協働することを目指します。

「30年後の将来像」の実現に向け、「基本戦略」に基づき、リーディングプロジェクトごとに各目標の進捗を関係者間で確認し、継続的に改善を行います。

リーディングプロジェクトの取組内容については、社会経済環境や状況の変化を捉えながら柔軟に見直し、必要に応じて新たなプロジェクトを設定するなど、最適な実現策に取り組みます。



図表 8-1 ビジョンの実現に向けた基本的な視点

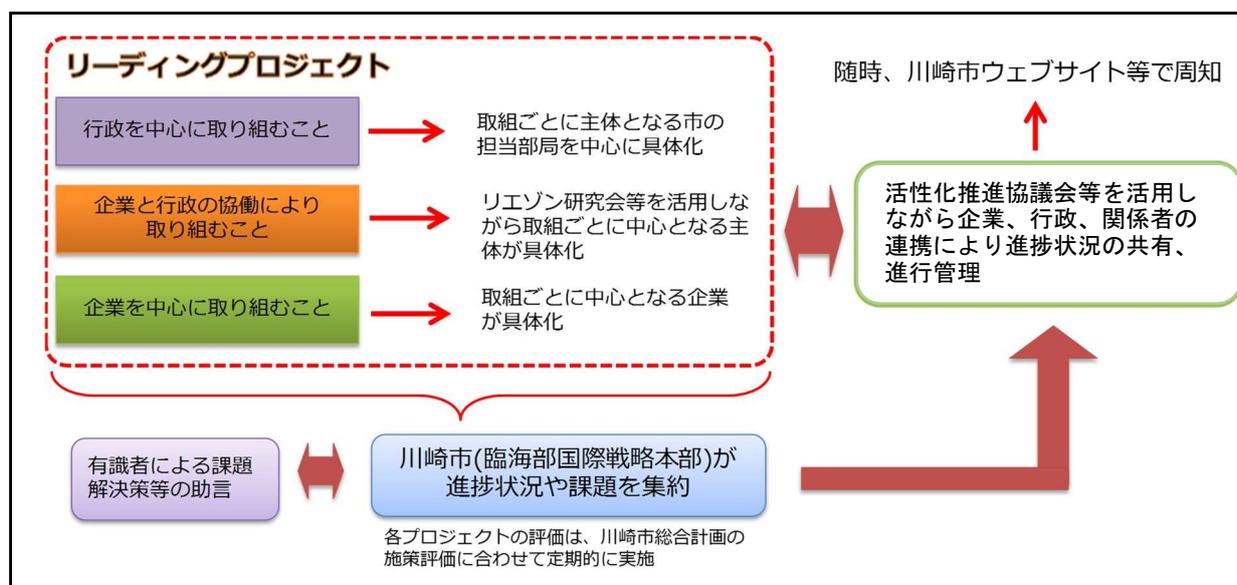
## 8-2 ビジョン推進の考え方

臨海部ビジョンは、策定から順次、「リーディングプロジェクト」の推進に取り組み、関係者と協力しながら各プロジェクトに位置づけられた取組を具体化します。

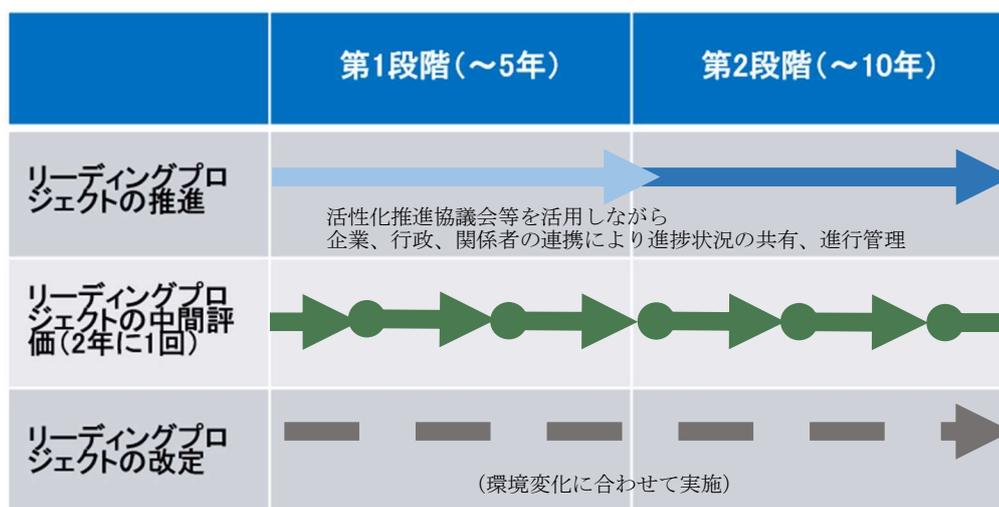
各取組は、「行政を中心に取り組むこと」「企業と行政の協働により取り組むこと」「企業を中心に取り組むこと」に分類し、川崎市が関わるものは、取組内容の具体化に合わせ、総合計画や関連分野の諸計画への位置づけと整合を図ります。企業が関わるものは、リエゾン研究会等を活用しながら取組ごとに中心となる主体が具体化を図ります。

各プロジェクトについては、川崎市(臨海部国際戦略本部)が進捗状況や課題を集約し、有識者から課題解決策等の助言を得るとともに、川崎臨海部活性化推進協議会等を活用しながら企業、行政、関係者の連携により進捗状況の共有や進行管理を行います。

なお、各プロジェクトの評価は、川崎市総合計画の施策評価に合わせて定期的を実施します。



図表 8-2 ビジョン推進の考え方



図表 8-3 今後のスケジュール